

西新宿の未来の街を体験！ (FUN MORE TIME SHINJUKU 2024 開催報告)

ファンモアタイム新宿実行委員会（代表：一般社団法人 新宿副都心エリア環境改善委員会）は、東京都・新宿区と共に、令和6年10月18日（金）から10月20日（日）の3日間、国家戦略道路占用事業の区域に認定された、新宿副都心4号街路を中心とした新宿副都心エリア内の公開空地や車道を含む道路空間等を一体的に利活用し、多様な人々の滞在・交流を促進するための、2022年より今年で3回目を迎える社会実験「FUN MORE TIME SHINJUKU 2024」を実施しました。

◆ FUN MORE TIME SHINJUKU 2024 実施報告

2023年3月に東京都・新宿区が策定した「西新宿地区再整備方針」が示すまちの将来イメージを、本取組みを通じて仮想的に再現するため、①ビル内での活動を官民オープンスペースで実施 ②滞在性の向上 ③回遊性の向上 について次のとおり実施しました。

①エリア内のビル、テナントなどの協力を得て、ビル内での活動を4号街路等の官民オープンスペースで実施、②4号街路におけるウォーカブルなまちづくりに相応しいファニチャーの展示や、都民広場での賑わい・滞在空間の創出、ファンモアタイムひろばでのスマートシティフェスタを実施、③4号街路から中央公園までの一体的な動線が生まれたことにより回遊性が向上、パーソナルモビリティによる歩行者の移動支援（体験乗車）を実施しました。

開催内容の告知においては、東京都主体のコンテンツと連携し、新宿駅周辺から会場まで街全体を「FUN MORE TIME SHINJUKU 2024」としてPRを行い、スケールの大きい告知展開ができました。また、オフィスワーカー以外にもファミリーや若者、外国人観光客を含む多様な層の来場により、3日間で約6万人の来街者数となりました。

◆ 主な実施内容

①ビル内での活動を官民オープンスペースで実施

東京医科大学病院から身近な健康に関する情報の提供

@新宿副都心4号街路

（ハイアットリージェンシー東京前）



工学院大学による学生プロジェクトブース

@新宿副都心4号街路

（京王プラザホテル前）



損保ジャパンによる防災ジャパンダプロジェクト

@新宿副都心4号街路

（東京都庁第一本庁舎前）



新宿野村ビルテナントによるキッチンカー出店

@新宿中央公園ファンモアタイムひろば

（水の広場）



大成建設による移動式空間（総合受付）

@新宿副都心4号街路

（新宿三井ビルディング前）



ハイアットリージェンシー東京のホテルレストランブース

@新宿副都心4号街路

（ハイアットリージェンシー東京前）



②滞在性の向上

ウォーカブルなまちづくり展示

@新宿副都心4号街路

（新宿住友ビル前、ハイアットリージェンシー東京前）



防災を楽しく学ぶイベント

@新宿副都心4号街路

（東京都庁第一本庁舎前）



都民広場の賑わい・滞在空間

【東京都都市整備局】

@都民広場



スマートシティフェスタ

【東京都デジタルサービス局】

@新宿中央公園ファンモアタイムひろば

（新宿副都心11号街路下、都民広場）



③回遊性の向上

自動運転車の体験乗車

@新宿副都心4号街路



パーソナルモビリティの体験乗車

@新宿副都心4号街路



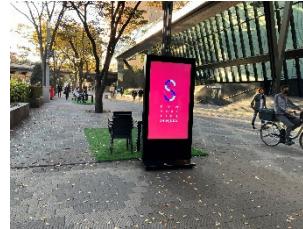
◆【FUN MORE TIME SHINJUKU】の3年間の取組みと成果

実施年	コンセプト	実施内容
2022年 11月 (9日間)		<ul style="list-style-type: none"> ・エリア内のポイントを巡るデジタルスタンプラリーの実施 ・4号街路明かり部でのデジタルサイネージ設置 ・都民広場での人工芝敷設 ・よさこいパフォーマンス ・新宿駅周辺屋外ビジョンと車内ビジョンへの放映
2023年 10月 (3日間)	東京都・新宿区と連携し、まちの将来イメージをイベントを通じ仮想的に再現 滞在性・回遊性向上の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・「再整備方針」に掲げている『新生活創造ラボ』の取組み ・4号街路トンネル部端部光広告での告知 ・4号 & 12号街路のフルモール化による交差点の平面交差 * 1 ・車道部での滞在空間設置 * 1 ・歩道上のファニチャー展示（ウォーカブルなまちづくり展示） ・都民広場での人工芝敷設 ・4号トンネル部でのデジタルサイネージ設置 * 2
2024年 10月 (3日間)	官民オープンスペースの一体的な利活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ビル内での活動を官民オープンスペースで実施 (工学院大学、東京医科大学、損保ジャパン、大成建設、新宿野村ビルテナント、ハイアットリージェンシー東京) ・パーソナルモビリティの体験乗車 (*1も実施) ・新宿駅東西自由通路「新宿ウォール456」での告知 ・4号トンネル部柱ポスター掲示 ・11号街路下の利活用 * 2

* 1 : 東京都都市整備局

* 2 : 東京都デジタルサービス局

- ・22年、23年の都民広場での人工芝敷設により、「都庁周辺の空間再編計画」（24年3月策定）の都民広場の整備イメージで示された芝生スペースの創出につながった。
- ・24年の11号街路下の取組みを経て、11号街路下の利活用検討の示唆を得た。
- ・3年間の4号街路での取組みを経て、道路の利活用の示唆を得た。
- ・22年、23年の4号街路へのデジタルサイネージ設置、24年の4号街路トンネル部柱ポスター掲示により、まちの案内および賑わい創出のための有用性を確認した。

2022年の様子	 都民広場での人工芝敷設	 デジタルサイネージ	 シェアラウンジ
2023年の様子	 4号と12号街路の平面交差	 4号街路トンネル部光広告	 ウォーカブルなまちづくり展示

◆参考：「西新宿地区再整備方針」（概要版）東京都・新宿区（2023年3月策定）抜粋

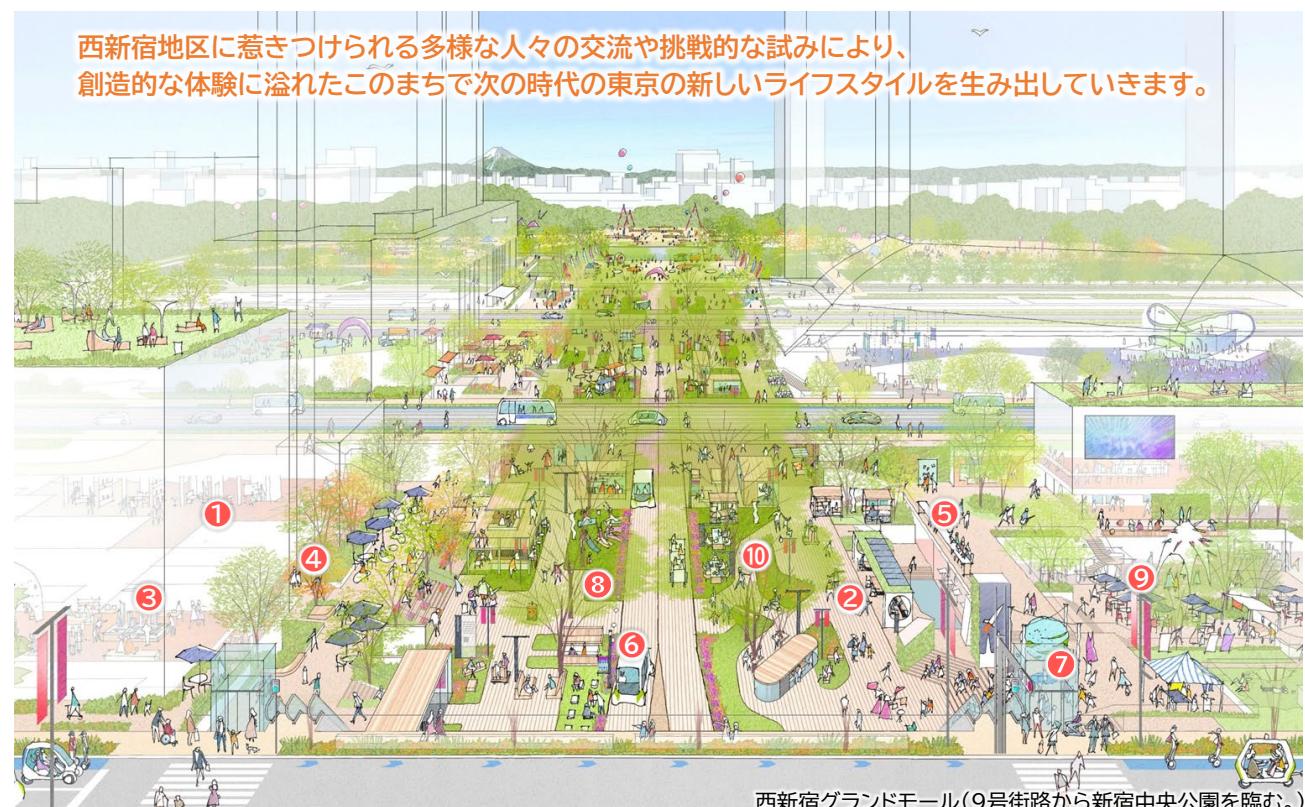
<https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/seibihosin/nishishinjuku.html>

https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/toshikei01_000001_00048.html

(4)まちの将来像・コンセプト



(6)まちの将来イメージ



- ①まちに開かれたロビー空間などで働いたり、休んだり、話したり、誰もが思い思いの時間を過ごすことができる。
- ②西新宿地区の企業等と様々な人が交流し、新しいビジネス・商品・価値・体験が生まれている。
- ③まちの歴史や将来計画に触れられる機会がまちなかにあふれ、誰もが気軽にまちづくりに参加できる。
- ④緑陰や草花などがあり、開放的多様な活動が見渡せるテラス空間で、居心地の良い時間を過ごすことができる。
- ⑤快適な通信環境が整備され、自然豊かなまちなかでミーティングや商談など多様なスタイルで働くことができる。
- ⑥次世代モビリティなどにより、新技術を体験しながら西新宿のまちを回遊することができる。
- ⑦まちの垣根が取り払われ、誰もが分かりやすくスムーズに歩け、どこへでも立ち寄ることができる。
- ⑧災害に強い都市インフラや避難場所、物資が確保されていて、誰もが安心して過ごすことができる。
- ⑨スタートアップ企業や市民等による実験的な取り組みがまちなかで行われ、新しい何かに出会える。
- ⑩美しいまちなみや居心地の良い空間が企業や市民等により大切に育てられている。